

ベトナムにおける「西遊記」受容についての一考察

—水上人形劇の台本から—

伊澤 亮介*¹

A Study of Spread of “Journey to the West” in Vietnam

– Through Analyzing Some Scripts of Water Puppetry –

Ryosuke IZAWA

キーワード：西遊記, ベトナム文学, 人形劇

1. はじめに

現在、ベトナムにおいて「西遊記」は日本と同様に高い人気を誇っている。多くの絵本、マンガ、舞台、映画などが中国から入り、またベトナムにおいてもつくられ、今やその登場人物はオリジナルのストーリーから飛び出して様々なところに顔を出す。現在のベトナムで、この物語と孫悟空を初めとするキャラクターたちが不動の人気を得ることになったきっかけも日本における事情と似ている。それは、テレビドラマの影響が決定的であったということである。三蔵法師一行が行く先々で災難にあい、悟空、悟浄、八戒の弟子たちが次々に出てくる妖怪たちと、時には術を使って化かしあい、時には激しく闘って、遂にはそれらを退散してめでたしとなるという定型はベトナムにおいても変わらない「西遊記」に対する基本的なイメージであろう。

しかし、もちろんそれ以前から小説や演劇として「西遊記」は中国からベトナムへ入り、漢文を解する知識人層から庶民までそれを楽しんだはずである。しかし、近代以前の西遊記の受容状況についてははっきりしたことは分からない。私は、数年来ベトナムの水上人形劇について研究しているが、演目の中に西遊記関連のものが多数あったため、ベトナムの西遊記事情を調べるようになった。その一部を紹介するのが本稿の趣旨である。

一方で、水上人形劇の歴史についても残された資料がほとんどなく、その詳細は明らかになっていない。これまでベトナムにおいてなされた水上人形劇研究は、人形の製作法と操作法の紹介、各劇団ごとの演目と台本の列挙といったことが主で、特に演目と台本について分析したものはほ

*¹ 滋賀短期大学 ビジネスコミュニケーション学科

とんどなかった。従って本稿は、水上人形劇研究にとっては、その演目と台本の研究の第一歩という意味があり、また、ベトナム文学・文化研究にとっても、西遊記という一つの作品を通して中国の文学をいかに受容し、それがどのように民間レベルに浸透していったかを知る端緒になるのではないかと考える。

文中の表記について、ベトナム語は現在、「国語」(chữ Quốc Ngữ)とよばれるアルファベットを使った表記法で記されるが、日本語と同じように漢語由来の言葉が多く用いられている。例えば、「ベトナム」も漢字で表記すれば「越南」となり、この漢字をベトナム式に、日本でいうところの「音読み」をすると、Việt Nam つまり「ベトナム」となる。そこで、本稿では、もとの漢字を示したほうが日本人の読者にとって分かりやすいと判断したものについては、アルファベット表記したベトナム語の後に [] を用いてその漢字を示すことにした。例えば, Tây [西] Du [遊] Ký [記] といった具合である。また、漢字は全て日本の新字体を用いた。また漢語由来でないベトナム語の固有名詞、たとえば人形劇村の名前などに関してはカタカナ表記した。

2. 水上人形劇の概要

水上人形劇の西遊記関係の演目と台本を検討するにあたり必要最低限の前提となることがらについて整理しておきたい。

2-1. 水上人形劇とは

水上人形劇とは、ベトナムの「民間舞台芸術」であり、現在ベトナムにしかみられないと言われている水を舞台として用いる世界でもめずらしい人形劇である。



写真：水上の舞台と幕（2013年月1日，ハノイ民族学博物館にて著者撮影）

人形の操作は棒と糸を使い、人形遣いは水に腰までつかった状態で幕の裏から操作する。人形は棒の先に固定し、棒と人形の土台部分は水に沈めて見えないようにする。糸を操作することで手が動かせるものもある。更に、予め水中に糸を張った杭を設置しそれを操作して人形を動かすものもある。

2-2. 水上人形劇について述べた史料

「はじめに」でも触れたように、水上人形劇の歴史については、その詳細は明らかになっておらず、それについて述べた資料も限られている。ある碑文¹⁾を根拠に千年の歴史をもつとされる場合もあるが、その内容は水上人形劇の様子を描いたとは断定しがたく、ベトナムの史料で遡れるのは古くても19世紀半ばである²⁾。一方で、中国では「水傀儡」「水（木）傀儡戲」などという名称で水を使った人形劇が早くは宋代の史料に見られる。その中で、特にベトナムの水上人形劇との関係を強く示唆し、さらに本稿の目的の上でも重要な一つの史料は、崇禎十一（1638）年、劉若愚によって書かれた『酌中志』である。この史料で描写されている人形劇の様子（資料1）は現在ベトナムでみられる水上人形劇と酷似している。また、そこで挙げられている演目にはベトナムに関するものもある。その中で特に西遊記に関するものについては後で取り上げたい。

2-3. 現在の各劇団とその演目

遅くとも19世紀にはベトナムに存在したと考えられる水上人形劇は、北部紅河デルタ地域の各省の農村で維持、上演されたようである。人形劇村の数も時代によって増減し、その活動も歴史的な出来事に影響を受けつつ浮き沈みしながら現在まで続いてきた。現在では15の劇団が活動している（資料2の地図参照）。

演目に関しては、一般的に、1945年以前の伝統的な演目、革命、独立運動期につくられた政治や戦争、現代生活をテーマとした演目、そしてまた最近新たにつくられてきた現代の演目に分けられる。各劇団の演目にはそれぞれの特徴があるが、伝統的な演目の中にいくつか全域の劇団に共通する演目があり、「三国志」や「西遊記」などの中国の小説に関する演目もそのような演目の一つである。

2-4. 他の舞台芸術との関係

ベトナムの文学には、Bác [博] Học [学] と Dân [民] Gian [間] という二つの流れがあり、簡単に言えば前者は文字によって書かれるもの、後者は口承文学を指す。ベトナムでは、漢字と民族の文字である字喃（チュノム：発生の時期には諸説あるが、本格的にそれを用いて文学作品がつくられるようになるのはだいたい18世紀からである）という文字をもったが、チュノムの文字の習得は漢字の知識を前提としており、博学文学はすなわちその名の通り知識人階級の文学といえ

る。水上人形劇の台本が文学として位置づけられることは今までなかったが、これまで人形劇村の内部で口承によって伝えられてきたと思われるので、分類するならば民間文学ということになる。

また、舞台芸術においても同じように二つの流れがある。14世紀、陳朝の時代に、歌劇の台本を貴族の子弟たちが書いていたと伝える資料があるが、宮廷で演じられた歌劇については、その後も、知識人階級の手によって、その台本が制作されたと思われる。一方、民間の舞踏や歌に起源をもつ歌劇が農村を中心に演じられ、発展してきた。大まかに分けると、前者の流れを汲むのが tuồng (トゥオン) や ca trù (カーチュウ) であり、後者が chèo (チェオ) であり、また、水上人形劇であるということが出来る。そして、トゥオンには水上人形劇と同様に「西遊記」や「三国志」の演目があり。トゥオンの台本だといわれている資料も残っている³⁾。水上人形劇の演目は、このトゥオンからきたものであると説明されることがある。それについても次章で述べたい。

3. 水上人形劇の演目と台本における西遊記

3-1. 各劇団に見られる西遊記関係の演目

以下は各劇団がもっている西遊記関係の演目である。

グエン劇団

Phá [破] đông [洞] sơn [山] quân [君]	洞窟の山君を破る
Tây [西] Du [遊]	西遊記
Đường sang Tây Thiên hiện đại (台本有)	天竺への道, 現代版

ドン劇団

Đường [唐] Tăng [僧]	唐僧
Đường [唐] Tăng [僧] thỉnh [請] kinh [経] (台本有)	唐僧請経

ザック劇団

Tây [西] Du [遊]	西遊記
----------------	-----

タインハイ劇団

Tam [三] Tạng [蔵] đi lấy kinh	三蔵法師が求経に行く
Đường [唐] Tăng [僧] thỉnh [請] kinh [経]	唐僧請経

ブイトゥオン劇団

Đường [唐] tăng [僧] thỉnh [請] kinh [経] (台本有)	唐僧請経
Thầy trò Đường Tăng (đi Tây [西] Trúc [竺] lấy kinh)	唐僧師弟 (天竺へ求経に行く)

イエントン劇団

Đại [大] thánh [聖]	聖孫悟空
-------------------	------

ロイオック劇団

Tây [西] Du [遊]	西遊記
----------------	-----

ダオトウック劇団

Đường [唐] Tăng [僧]	唐僧
Đường [唐] tăng [僧] thỉnh [請] kinh [經]	唐僧請經

この中で、今著者の手元に台本があるのが、グエン劇団の“Đường sang Tây [西] Thiên [天] hiện đại 天竺への道、現代版”と、ドン劇団“Đường [唐] Tăng [僧] thỉnh [請] kinh [經]”，そしてブイトゥオン劇団の“Đường [唐] tăng [僧] thỉnh [請] kinh [經]”の三種類のみであり、そのほかの演目についてはその内容を知ることができないので、演目の名称から推すことしかできないが、それぞれの演目の名称の違いは内容の違いを反映していると考えられる。大きく分けて“Tây [西] Du [遊]”と“Đường [唐] Tăng [僧] thỉnh [請] kinh [經] (đi lấy kinh)”の二つの種類があるが、タイビン省にはいずれもあり、さらに“Phá [破] động [洞] sơn [山] quân [君]”というほかに見られない名前の演目がある。まず、この“Phá [破] động [洞] sơn [山] quân [君]”という演目について考察してみたい。

3-2. 演目“Phá [破] động [洞] sơn [山] quân [君] ”

この演目の台本はまだ手に入れていないので、内容は分からないがチュノムで書かれた資料『西遊伝』からその内容が推測できる。この資料は、現在五つの版が残っており、それぞれ漢喃研究院の所蔵になる成泰五年（1893年）の同文堂蔵板が四種（AB75, AB78, AB80, AB81）、国立図書館の所蔵になる維新六年（1912年）の廣盛堂蔵板が一種である。漢喃研究院のホームページによると⁴⁾、その内容は、「山君（正体は虎）が三蔵の肉を食べるが、後に孫悟空によって救われる」とある。従って、グエン村の“Phá [破] động [洞] sơn [山] quân [君]”もそういった筋の演目であったであろうと推測できる。

また、アンリ・オジェの『安南人の技術』⁵⁾（Oger 2009）（初版は1909年）には、いくつかの西遊記に関する図画が載っているが、その中に「斉天助難」と題された一枚の画がある。その画に孫悟空らしき人物は見えないが、「山君崗」と書いてある建物に一人の人物が座っている。「斉天」とはつまり、孫悟空であり、座っている人物が「山君」であり、「助難」とは孫悟空が三蔵法師を山君から救った、ということであろう。いくつかのチュノム資料が残っていることと合わせて、この「孫悟空が山君から三蔵法師を救う」という話はベトナムでは広く知られていた話であるといえそうである。しかし、この話は、呉承恩の小説にはみられない。「山君」という妖怪が登場する回はあるが、それは三蔵法師が孫悟空と出会う前であり、また、山君が虎であったという描写もない。従って、19世紀の終わりから20世紀の初めにかけて広く知られていたであろうこの「破洞山君」の話はベトナムで創作されたものではないか、と考えられる。



『西遊伝』 <http://lib.nomfoundation.org/collection/1/volume/52/page/1>



「齊天助難」(オジェ, 2009)

3-3. ドン劇団(タイビン省)の演目“Đường [唐] Tăng [僧] (三蔵法師)”

次に台本の中身について検討してみると、まずドン村の演目“Đường [唐] Tăng [僧] thỉnh [請] kinh [経]”であるが(資料3-1)、これは西遊記のどの場面だろうか。はじめの歌には、三蔵法師がすでに天竺へ到達してお経を得ており、その帰りに“Bể Đông”つまり東の海に差し掛かった場面であるということが分かる。しかし、少なくとも呉承恩の小説にそのような場面はなかったはずで

ある。この“Bể Đông”が「東海」（東シナ海）だとすると、孫悟空と東海がつながるのは西遊記では「孫行者大鬧龍宮」で、四海龍王の龍宮に乗り込んで大暴れする話、そして『八仙東遊記』である。『八仙東遊記』は、戯曲『八仙過海』をもとにつくられた小説であり、八仙と龍王との戦いが描かれるが、八仙側の助っ人として孫悟空も登場する。しかし、「孫行者大鬧龍宮」の話は孫悟空が三蔵法師に出会う前の話であり、また『八仙東遊記』は三蔵法師の取经とは関係のない話である。ここに挙げたドン村の台本の内容はこれらの話をモチーフにした創作ということではないだろうか。

また、これらは、先に見た『酌中志』に人形劇の演目として挙げられていた。それはベトナムの水上人形劇と明代の中国の水上人形劇との関係を考える上で重要な事実であり、さらに、西遊記の受容を考える上でも重要である。仮に、この明代の中国の水上人形劇がベトナムに入ってきたのだとすると、水上人形劇の西遊記というものは小説、あるいは第一章で触れたトゥオンのような他の演劇から改変されたものではなく、もともと人形劇にあったものであり、人形劇を通してベトナムに受容されたものであるということになる。あるいは、もし二つの水上人形劇に直接の関係がないとしても、水上人形劇の西遊記つまり民間芸術、民間文学としての西遊記はオリジナルとはかなり改変されたものであるということはいえそうである。

3-4. 現代の演目

次に、現代の演目について、ブイ・トゥオン劇団（ハイズオン省）の“Thầy Trò Đường Tăng 三蔵師弟”という台本がある（資料3-2）。言葉遣いや「カラオケ」といった言葉から全く新しい演目のように思われるが、三蔵法師の食べ物を探しに行くところなどから伝統的なモチーフに沿った場面ではないかと思われる⁶⁾。またグエン劇団の“Đường sang Tây [西] Thiên [天] hiện đại 天竺への道、現代版”の台本では（資料3-3），“Thầy Trò Đường Tăng 三蔵師弟”の台本と似た場面が描かれ、その他に三蔵法師を救うために悟空が金角という妖怪と闘うという場面も描かれている。三蔵法師は、その肉を食べると不老不死になるという理由で妖怪に狙われている。そして、ここでも金角は虎に変身する。金角は、小説の西遊記にも、また現代のテレビドラマや漫画にも頻繁に登場する有名な妖怪である。従って、あるいはテレビドラマの影響を受けているのかもしれない。ただ、金角は小説でもドラマでも虎に変身することはない。山君であれ、金角であれ、虎に変身する妖怪が三蔵法師を狙って、それを孫悟空が阻止するというのがベトナム独自の西遊記の一つの典型なのかもしれない。その要素は現代の台本にも受け継がれていることが分かる。

以上、見てきたように、『西遊伝』から推測される演目“Phá [破] động [洞] sơn [山] quân [君]”の内容や資料に示した二つの台本の内容は、呉承恩の小説やおそらくはそれに近いと思われるトゥオンの台本とは異なっており、ベトナム独自の要素が色濃く、またむしろ明代の水上人形劇の台本と関連があるのではないかという事を指摘した。それはつまり、小説や演劇という形で入ってきた西遊記と、人形劇を通して入ってきた西遊記があったのではないかということを示唆するものではないだろうか。

結論

西遊記関係の演目は各地方の人形劇村に見られる伝統的演目である。そのことから、西遊記というモチーフが民間文学、民間文芸の世界まで浸透していたことが分かる。ただ、その内容を検討してみると、小説や演劇における西遊記とは随分と異なったものになっていた。水上人形劇の西遊記関連の台本はトゥオンの台本からの抜粋であると説明されることがあるが、トゥオンの台本が小説と同じ章回形式の百回構成を残していることから内容もそれに近いと考えられるのに対して、ベトナム独自の要素を持つものになっている。それは、「山君が三蔵法師を襲い、悟空が助ける」や妖怪が虎に化けて三蔵法師を襲うといった話のパターンだった。その違いは、やはり文字で書かれたものと、口承で広げられたものというところからくると考えられる。つまり、小説や演劇の台本として残された西遊記と口承によって伝えられる間に変化していった西遊記の二つの形があり、それはそもそも人形劇を通して中国からベトナムに入ってきた可能性もあるということを指摘した。

口承による伝播という事に関して、ハイズオン省の人形劇に「西遊記」の演目があった⁷⁾ことや、祭りや儀式(人形劇)などの後に語られた可能性がある⁸⁾など、更に研究する余地がある。また、磯部(1981)によると、「清代を通じて最も流布したテキストは、『西遊真詮』である。だが、成泰5年当時、清では、『昇平宝筏』などの戯曲類や『新編説唱孫行者大鬧天宮』などの説唱的存在『唐僧宝卷』などの宝卷類や鼓詞などリズムを基調とする西遊記物語も並行して存在していた。ベトナムの『西遊伝』との関係を問う場合、考慮する必要があるようにも思われる。」とあるように、ベトナムにおける西遊記受容ということを考えるとき、『西遊伝』の本文はもちろん、『西遊真詮』など、他の西遊記のテキストも詳細に研究する必要があるが、それはこれからの課題としたい。

注

- 1) 「大越国当家第四帝崇善延齡塔碑」という1121年に立てられた塔の碑文に、皇帝が川で行われる演劇を観覧する場面があるが、それが人形劇であるとは明記されていない。
- 2) 嗣徳四年(1851年)に書かれた類書である『日用常談』に「張水戯羅{オ+某}編諾」(張水戯は水上人形劇である)とあり、また Truong Vinh Ký (1881) にも “Múa rối nước” つまり水上人形劇の語が見える。
- 3) 『西遊記伝』(鈔本、年代不明)、チュノムで書かれ、章回形式で百回の内容がある。つまり、小説の西遊記と同じである。内容についてはまだ確認できていないが、おそらく元の小説に違いのではないだろうか。
- 4) 『西遊傳』漢喃研究院ホームページ <http://www.hannom.org.vn/trichyeu.asp?param=7433&Catid=248>
- 5) Henri Oger, Technique du peuple Annamite, 2009
- 6) 『西遊記』描くところの、しょっちゅうお齋をほしがる三蔵のイメージには、実は由来があります。『西遊記』に先行する語り物のテキスト『大唐三蔵取経詩話』に、三蔵を食欲旺盛の大食漢だとする話があるのです。この三蔵大食漢伝説がめんめんとして受け継がれ、三蔵がお齋をほしがり、悟空らがさがしに出かけた際に妖怪が出現、事件に巻き込まれるという、西遊記世界の三蔵のイメージが形成されたものと

伊 澤 亮 介

思われます。語り物世界の三蔵大食漢伝説は、『西遊記』ではおおむね八戒に移植されますが、見てのとおり、三蔵のイメージにも明らかにその痕跡が残っています。」(井波2008)

- 7) Hà Cầu (ハーカウ) 村 (ハイズオン省) では以前チェオやトゥオンの台本を人形で演じていた。トゥオンの台本の中には Tây Du (西遊記) もあった (Nguyễn Huy Hồng 1974)。
- 8) Thảm rộc (タムゾック) 人形劇団 (ビンイエン社, デインホア県, バックタイ省) では人形劇の上演の後に音楽に合わせてチェオの演目や「前漢後漢」(水上人形劇の演目にもある) などにちなんだ詩が読まれた (Nguyễn Huy Hồng 1974)。

参考文献

<ベトナム語>

- Henri Oger, *Technique du peuple Annamite*, NXB Nhà Nam, Thế Giới, TVKHTPHCM, 2009
Hoàng Chương, *Nghệ thuật múa rối nước Việt Nam*, NXB Văn hóa - thông tin, 2012
Lý Khắc Cung, *Nghệ thuật múa rối nước*, NXB Văn hóa - thông tin, 2006
Nguyễn Bích Hà, *Giáo trình Văn học dân gian Việt Nam*, NXB Đại học Sư phạm, 2012
Nguyễn Huy Hồng, *Nghệ thuật múa rối nước Việt Nam*, NXB Văn Hóa, 1974
Nguyễn Huy Hồng, *Nghệ thuật múa rối nước Thái Bình*, Sở Văn hóa thông tin Thái Bình, 1987
Nguyễn Hữu Phách - Lê Thị Dự - Nguyễn Thị Ánh, *Ca dao, vè và múa rối nước ở Hải Dương*, NXB Thanh Niên, 2000
Tô Sanh, *Nghệ thuật múa rối nước Việt Nam*, NXB Văn Hóa, 1976
Trương Vĩnh Ký, *Đi Bắc Kỳ Năm Ất-Hợi (1876)*, NXB C. Guillard et Martinon, 1881

<和文>

- 磯部彰「安南国における『西遊記』の受容—近世インドシナ地方の中国文学の展開をめぐって—」(『富山大学人文学部紀要』第五号, 1981年)
磯部彰『旅行く孫悟空 東アジアの西遊記』, 2011年, 塙書房
井波律子『中国の五大小説 (上) 三国志演義・西遊記』, 2008年, 岩波新書
井上浩一「日本における子ども向け『西遊記』について—挿話選択の傾向と方法—」(『国際文化研究』第19号, 2013年, 東北大学国際文化学会)
岡崎由実「京劇と『西遊記』」(『ユリイカ』9月号, 1998年, 青土社)
中野美代子訳『西遊記』(一)～(十), 2005年, 岩波書店
魯迅著, 丸尾常喜訳注『中国小説の歴史の変遷 魯迅による中国小説史入門』, 1987年, 凱風社

<漢文>

- 劉若愚『酌中志』, 1994年, 北京古籍出版社
“Thơ văn Lý - Trần Tập”, Nhà Xuất Bản Khoa Học Xã Hội - Hà Nội, 1977

<インターネット>

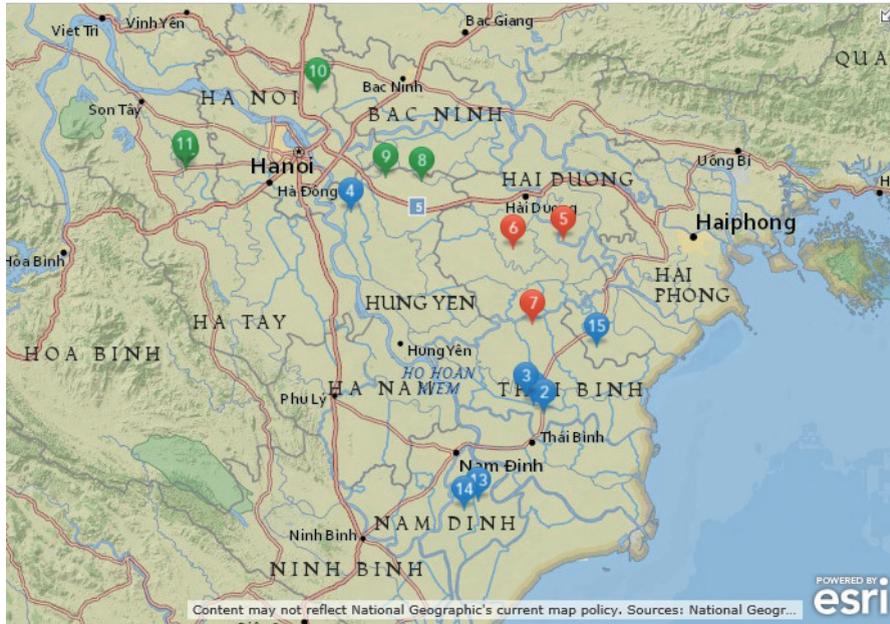
- 『西遊傳』 Nom foudation <http://lib.nomfoundation.org/collection/1/volume/862/page/47>
『西遊記 (演傳)』 漢喃研究院 <http://www.hannom.org.vn/trichyeu.asp?param=7432&Catid=248>
『西遊傳』 漢喃研究院 <http://www.hannom.org.vn/trichyeu.asp?param=7433&Catid=248>

資料 1：劉若愚『酌中志』卷十六：内府衙門職掌 鐘鼓司

又木偶傀儡戲，其製用輕木雕成海外四夷蠻王及仙聖，將軍，士卒之像，男女不一，約高二尺餘，止有臂以上，無腿足，五色油漆彩畫如生。每人之下，平底安一樺卯，用三尺長竹板承之。用長丈餘，闊數尺，深二尺餘方木池一箇，錫鑲不漏，添水七分滿，下用凳支起，又用沙圍屏隔之，經手動機之人，皆在圍屏之內，自屏下游移動轉。水內用活魚，蝦，蟹，螺，蛙，鯪，鱔，萍藻之類浮水上。聖駕陞殿，座向南，則鐘鼓司官在圍屏之南，將節次人物各以竹片托浮水上，游鬧頑耍，鼓樂喧哄。另有一人執鑼在旁宣白題目，替傀儡登答讚導喝采。或英國公三敗黎王故事，或孔明七擒七縱，或三寶太監下西洋，八仙過海，孫行者大鬧龍宮之類，惟暑天白晝作之，如要把戲耳。其人物器具，御用監也。水池魚蝦，內官監也。圍屏帳幔，司設監也。大鑼大鼓，兵仗局也。乍觀之，似可喜。如頻作之，亦覺繁費無味。

また、木偶傀儡戲は、その製法は軽い木をつかって世界各地の蛮族の王や仙人、聖人、將軍や士卒の像を彫刻してつくるものであり、男女の区別もある。高さは二尺（約60cm）あまり、ただ臂より上があるだけで、足はない、五色の油漆を用い、色彩はまったく生きているようである。底は平たく、凹凸を設けて、三尺の長さの竹や板でこれに接続する。長さ一丈餘り（約3m）幅数尺、深さ二尺餘りの方形の木造の池を一箇用い、錫をはめ込んで水が漏れないようにし、七分まで水をくわえる。下は凳を使って支え起す。また沙（紗）の幕を使って、これを隔てる。人形を操作する人は、みな幕の内側にいてその下から人形を動かす。水の中では活魚、蝦、蟹、螺、蛙、鯪、鱔などを使い、萍藻の類を水の上に浮かべる。皇帝陛下がおこしになり、南面してお座わりになると、鐘鼓司官は幕の南側にいて、順番に登場人物がそれぞれ竹片をもって水上に浮かび、賑やかに遊び、太鼓の音も賑やかになる。それとは別に一人の銅鑼をもつ者が（皇帝の）旁にあって題目を告げ、人形にかわって登答し讚導喝采する。英國公が三度黎王を破った故事や孔明の七擒七縱の伝説、あるいは三寶太監下西洋、八仙過海、孫行者大鬧龍宮などの演目がある。この劇はただ天気のいい昼間にのみ上演する。その人形と器具は、御用監の管轄である。水の池や魚蝦は、内官監の管轄である。幕は、司設監の管轄である。大鑼や大鼓は、兵仗局の管轄である。この劇を観るのはよいが、頻繁に上演するのは、やはり浪費であり意味のないことであると思われる。

資料2 現在活動している人形劇村の所在地



- 1 Phường Nguyễn · tỉnh Thái Bình
- 2 Phường Đống · tỉnh Thái Bình
- 3 Phường Tuộc · tỉnh Thái Bình
- 4 Phường Lợi Ốc · tỉnh Hưng Yên
- 5 Phường Thanh Hải · tỉnh Hải Dương
- 6 Phường Bùi Thượng · tỉnh Hải Dương
- 7 Phường Hồng Phong · tỉnh Hải Dương
- 8 Phường Bùi Xá · tỉnh Bắc Ninh
- 9 Phường Đông Ngự · tỉnh Bắc Ninh
- 10 Phường Đào Thực · Hà Nội (Đông Anh)
- 11 Phường Chàng Sơn / Phường Yên Thôn · Hà Nội (Hà Tây)
- 12 Phường Phủ Đa · Hà Nội (Hà Tây)
- 13 Phường Rạch · tỉnh Nam Định
- 14 Phường Nam Giang · tỉnh Nam Định
- 15 Phường Nhân Hòa · tỉnh Hải Phòng

資料3 : 「西遊記」関連の台本

3-1. Đường [唐] tăng [僧] thỉnh [請] kinh [經] 西遊記 (ドン村の水上人形劇)

Kinh nhà Phật ở phương Tây Trúc	天竺の方にある仏のお経
Thầy Đường Tăng lúc đã lấy kinh	唐僧 (三蔵法師) が、ついにお経を手にし
Qua bể Đông chúng quỷ hiện hình	東の海に差し掛かると、鬼どもが現れるが
Đại Thánh cứu khỏi nộp mình miệng quỷ	大聖が助けてくれ、鬼に食べられなくて済んだ

Quý 1: Dạ cấp báo

鬼 1 : 急報だ

Quý 2: Hà sự báo

鬼 2 : なんだ, 何の報告だ

Quý 1: Dạ có thầy trò Đường Tam Tạng sang Tây thổ lấy kinh. Vậy chúng tôi cấp báo

鬼 1 : はっ, 唐の三蔵師弟一行が西土へ取经へ参るようです。そこで急報した次第です。

Quý 2: Nếu vậy hay cha chá

Truyền quân bay vây bắt đem về Đãng cho mổ khai đao mở tiệc

鬼 2 : そうだとすると, なんと嬉しいことか

ものどもに伝えてとらえて来させろ, 刀でさばいて宴としよう

Đại Thánh:

大齊 :

Ta Đại Thánh ở chốn thiên đình

我は聖天大齊, 今は天庭にいる

Thầy Đường Tăng sang Tây Trúc lấy kinh

唐の三蔵様は天竺へおいでになって経を手に入れたが

Chẳng may gặp phải sơn tinh nó bắt

運悪く山精に出会ってしまい, 捕まってしまった

Bỗng phút chốc văng đầu, sốt mặt

急に (怒りで) 頭が上気して熱くなってきた

Kíp dâng vân triệt lữ hung tàn,

急いで雲に乗り悪い奴らを退治して

Để thoát khỏi trong vòng yêu quái

妖怪どもから救い出そう

Nguyễn Huy Hồng (1987)

伊 澤 亮 介

3-2. Thầy Trò Đường Tăng

三藏師弟

Hậu trường

舞台裏から：

Gập ghềnh vó ngựa ,mù sương

馬はふらふら、霧が立ち込め

Núi cao vực thẳm trên đường lấy kinh

高い山が求経の道に立ちふさがる

Chim kêu vượn hót non xanh

鳥が啼き猿が吠える緑の山々

Khó khăn vất vả mới thành chân tu

苦難があつてこそこの修業

Trải qua bao nhiêu gian nan cực nhọc, Đường Tăng và ba đồ đệ đang mang bộ Kinh từ đất Phật trở về. Tới nước Ô Kê, mặt trời đang khuất dần sau dãy núi xa xa. Bốn thầy trò quần áo nhuốm bụi đường, đang dò tìm một căn nhà xin nghỉ tạm qua đêm...

いくつもの苦難を越えて、三蔵と3人の弟子たちは仏の国よりお経を持ち帰っているところ。オケの国にさしかかり、夕日は遠く山並に沈んでゆく。4人の師弟は衣服の塵を払い、一夜の宿を探す。

Đường Tăng: Ngô Không con! Con nhanh chân đi trước, xem có nhà nào để thầy trò nghỉ tạm. Trời cũng đã tối rồi!

三蔵:悟空よ! お前が先に行つて、しばらく休める宿がないか見てきなさい。もう暗くなつてしまった。

Ngô Không: Ngô Năng, Ngô Tĩnh! Hai đệ bảo vệ thầy để ta đi trước xem sao!

(Đi rồi quay lại) Thưa sư phụ, phía trước có một nhà. Xin thầy cho nghỉ tạm ở đây, phía tay con chỉ kia kia...

悟空: 悟能 (八戒のこと)、悟浄! お前たち二人が師匠をお守りしろ。私は先に行く。

Đường Tăng: Có biển đề chữ gì kia?

三蔵: あの文字は何だ?

Ngô Không: Dạ, có biển đề Karaoke ôm ă!

悟空: はい、カラオケ・キャバレーでございます。

Đường Tăng: Karaoke ôm là thế nào các con?

三蔵: カラオケ・キャバレーとは何だ?

Bát Giới: Chắc là vào đây vừa được ăn no, vừa được ôm thoải mái, sung sướng lắm, hẳn hơn nhiều so với động của con Bạch Cốt Tinh phải không sư huynh?

八戒: きつとそこでは腹いっぱい食べられて、好きなだけ抱けて、快適ですよ、少なくとも白骨精のときよりはましでしょう、そうでしょう? お師匠さん。

Ngô Không: Con lợn này thế mà khá! Vào đây rồi, cho chú mày vô tư thoải mái, bỏ những ngày vất vả gian nan. À mà này, nhưng phải cẩn thận đấy nhé! Không khéo bọn cào cào áo xanh áo đỏ,

mô đồ mi xanh nó ăn thịt thì khốn. Rồi mai lên đường, lại chỉ toàn thấy mắt là mắt thì nguy to!

悟空: 豚のくせによく頭がまわる。ここに入って、ゆっくりくつろぐといい。苦勞続きの旅をしてきたかがあるというものだ。ああ、おい、でもなあ、気をつけなよ！さもないと、色とりどりに着飾った妖怪たちに食べられてしまうからな。そして、明日出発の段になって、目しか残ってないなんてなったらお終いさ！

Bát giới: Dạ, huynh xem này, người đệ núc nịch toàn mỡ thể này, chúng nó ngấy, chẳng thèm ăn đâu. Có ăn thì ăn Ngô Tinh còn có tí nạc chứ!

八戒: 兄貴、見てくださいよ、このデブで脂だらけの弟を。奴らだって胸やけしちまって、食べようとは思いませんや。食べるなら悟浄を食べたほうがまだ肉があるでしょうよ。

Sa Tăng: Đệ còn phải lo hành lý cho thầy. Xin nhường phần cho bác lợn, bác khi thôi!

悟浄: 私はお師匠のお荷物の番をしなければ。ここは豚兄さんと猿兄さんにお譲りしますよ。

Đường Tăng: Thôi, không cãi nhau nữa các con! Ta vào đó xem sao! Thầy cũng chưa biết Karaoke Ôm là thế nào cả! ...

三蔵: もうよい。喧嘩をするでない！

Ngô Không: Đây, tiếng nhạc xập xình... Còn các em thì miễn chê luôn, thầy ạ!

悟空: ほらほら、甘い音楽が聞こえてくる…おまけに女は非の打ちどころがないときた、お師匠様よ！

Đường Tăng: Thôi, thôi! Ta phải tránh xa ngay chỗ này các con ạ!

Đạo tu hành không cho phép ta làm việc đó.

三蔵: もうよい、もうよい。このようなところは避けなければ！

修業の道では、このようなことは許されません。

Bát Giới: Hay là thầy cứ đi, để con ở lại một mình vậy...

八戒: じゃあ、お師匠様は行きなさい、私は一人でここに残らせてくださいよ。

Đường Tăng: Bát Giới hãy nghe đây:

三蔵: 八戒よ、聞きなさい

Lòng ta trong sáng thanh cao

私たちの心は高潔で

Tránh xa cái chốn ồn ào phồn hoa

心を惑わす賑やかな場所は遠ざける

Ham chi một phút bê tha,

まして、少しでも淫蕩に耽るならば

Người đời chê trách, đầu là chân tu...

世間から非難され、何が修行だといわれるだろう

(Tất cả) 全員

Đúng đây! Thầy trò ta tiếp tục lên đường.

その通りだ！さあ、我々師弟は旅を続けるのだ。

Nguyễn Hữu Phách (2000)

3-3. Đường sang tây thiên thời hiện đại 天竺への道 (現代版)

Cảnh 1 (Nhạc - 4 thầy trò Đường tăng sang Tây Thiên - Từ trái qua phải - vào) 2'

場面 1 (音楽 - 4 人の唐僧師弟が西天へ向かう - 下手から上手に横切って - はける) 2分

Cảnh 2 Ma vương từ trong hang núi đi ra.

場面 2 魔王山の洞窟から出てくる

(Nhạc)

(音楽)

Nói: - Đại vương Sơn đỉnh

台詞 平頂山大王

Kim giác là ta

金角とは我のことだ

Cùng lữ tiểu yêu trấn động Liên Hoa

家来とともにこの蓮華洞窟に住んでいる

Tài biến hóa gần xa khiếp sợ

変化の術は遠近に恐れられておる

Tiếng đế: a ... a

合いの手: アー, アー

Ma vương nói: - Quân bay! (Dạ ...)

魔王の台詞: - ものども, 参れ! (はっ...)

- Mang rượu thịt ra đây cho ta

- 酒と肉をここへ持ってこい!

(Dạ ...)

(はっ...)

Tiểu yêu: Tay bưng bát rượu ra

家来: 手に酒を捧げて出てくる

- Dạ xin dùng rượu đại vương!

- 大王様, 酒をどうぞ!

Ma vương: (Bê bát rượu đưa lên mồm uống xong nó)

魔王: (酒を抱えて口へ運び飲み干す)

- Chà ... ngon tuyệt! Đúng là rượu nếp quýt hoa vàng ngon, ngon tuyệt (Ha Ha...)

- ああ, うまい! 本当に金米の酒はうまい, 絶品だ。(ははは)

- Tiểu yêu 2: Từ xa và về hết hoàng
家来 2 : 遠くから、そして慌てた様子で。
- Dạ, dạ... Bẩm đại vương, Dạ bẩm đại vương...
- 大王様, 大王様...
- Ma vương: - Sao! Cái gì?
魔王 : - どうした！何事だ？
- Tiểu yêu 2 - Dạ, phía đông Núi có thầy trò Đường Tam Tang sang Tây Trúc lấy kinh - Mong Đại vương ra tay ???
家来 2 - はっ、山の東方からお経を求めて西竺（天竺）へと向かう唐三蔵の師弟が参ります。大王様をお願いし???
Ma vương: - Sao! Đường Tăng hà - Ha Ha...
魔王 : - なに！唐僧だと？ - ははは
Ta nghe nói ăn 1 miếng thịt Đường Tăng sẽ trường sinh bất lão - Ha Ha... quân bay - (Dạ...) Theo ta
唐僧の肉を一口でも食えば不老長寿になると聞くぞ - ははは...もどのも！ - (はっ...) 我に続け
(a. a. a.)
(アー, アー, アー)
- Tiểu yêu 1 : - Dạ Dạ - Bẩm đại vương!
家来 1 : - 大王様, 大王様！
- Ma vương: - Sao!
大王 - なんだ！
- T yêu: - Dạ ... Con nghe nói - Đường tăng có 1 đại đồ đệ là Tôn ngộ không, pháp thuật cao cường lắm đấy ạ.
家来 - はっ、私が聞き及びましたところによると、唐僧には孫悟空と申します高弟がひとりおり、その術はめっぽう強いとのことでございます。
- Ma vương: - Ha Ha... Ngộ Không hà - Ngộ Không chứ đến 10 ngộ có. Ta cũng cóc sợ Ta sẽ bắt cả lũ về ngâm rượu.
魔王 : - ははは、悟空？空っぽの悟だと？ - 悟空など悟十いても恐れるに足りんわい。わしが奴らを全部捕まえて酒に漬けてやるわ。
- (Tất cả vào trong tiếng rao hò: a a... trường sinh bất lão a a....) Vào, nhạc mạnh
(一同氣勢を上げながらはける：アー, アー... 不老長寿だ, アー, アー...) はける、音楽を大きく
- Cảnh 3 Ngộ Không từ bên phải bay ra - nhạc

伊 澤 亮 介

- 場面 3 悟空が上手から飛んでくる - 音楽
- Sư phụ ơi - Sư phụ ơi...!
- お師匠様, お師匠様!
(3 thầy trò Đường tăng ở phía bên trái)
(3 人の唐僧師弟が下手にいる)
- Đường tăng 三蔵法師 - Ngô Không! Ta ở đâu...
- 悟空! どこだい?
(Ngô Không đáp xuống trước mặt Đường Tăng)
(悟空が三蔵法師の前に降りてくる)
- Nói: - Sư phụ ơi! Con đi mãi mà chẳng kiếm được gì ăn cả. Con chỉ xin được
mấy miếng bánh cây để sư phụ ăn cho đỡ đói.
- 台詞 - お師匠様! ずっと探して回ったのですが, 何も食べるものを見つけられ
ませんでした。少しですがバイン・カイ (おこしのようなお菓子。グエン・
サー村の名物) をどうぞ。これで空腹をまぎらしてください。
(Đưa bánh cho Đường tăng)
(三蔵にお菓子を渡す)
- Bát giới: - Bánh, bánh cây đặc sản hà. Cho tôi với. (Định cầm miếng bánh, liền bị
Ngô Không cốc vào đầu.
- 八戒: - お菓子だ, 名物バイン・カイじゃないか。俺にくれ。(お菓子に跳びか
かろうとする。すぐに悟空に頭をたたかれる)
- Ngô Không: - Bát giới...
悟空: - こら, 八戒
- Đường Tăng: - Ngô Không, Đưa cho bát giới và Sa Tăng ăn đi. Ta ăn thế này đủ rồi...
三蔵: - 悟空よ, 八戒と悟浄に食べさせてやりなさい。私はもういいから。
(Ngô Không đưa cho Bát Giới, Sa Tăng cùng ăn, vui vẻ trong tiếng nhạc)
(悟空は八戒と悟浄に渡して食べさせ, 音楽の鳴る中で楽しそうにしている)
- Đường Tăng - Đây các con - Ta thấy đường xá gập ghềnh, núi non hiểm trở. Khí ác
mịt mờ - Các con phải cẩn thận đấy
- 三蔵 - ちょっと, みんな。道は悪く, 山は険阻で, 悪い気が立ち込めているよ
うだ。みんな気をつけて参りましょう。
- Ngô Không: - Sư phụ yên tâm! Sư phụ cứ ngồi nghỉ - Để con đi thám thính xem sao (Bay
lên...)
- 悟空: - お師匠様, ご安心ください! お師匠様はどうぞお休みになってください。

私が様子を見て参ります（飛び去る）。

Bát Giới: - Sư phụ ơi Trời nắng chang chang. Thế này - Sư huynh lại bắt thầy trò mình, ngồi giữa đường mà nghỉ con hấn chắc lại kiếm cái bóng mát nào rồi kènh đây. Chi bằng, sư phụ cho chúng em vào cái quán ka ra ô kê kia mà nghỉ có hơn không - đi đi sư phụ...

八戒： - お師匠様！カンカン照りですよ。こんな時に、兄貴は私たちに道の真ん中に座って休めだなんて、あちらさんはきっと涼しいところでも探して横にでもなるつもりには違いないですよ。とにかく、お師匠様、私たちはあそこのカラオケ屋にでもはいつて休むに越したことはありますまい。さ、さお師匠様、行きましょ、行きましょ。

Ngộ Không đáp xuống - Bát giới! Chú biết gì mà nói. Chú có biết mấy cái quán kia có khi chỉ là ka ra ô kê trá hình - Biết đâu trong đó lại chẳng 1 ổ nhện nhện đây - Chú chưa rút được bài học lần trước sao? - Thôi! Hai chú phải trông nom Sư phụ cẩn thận - Ta đi đây! (Bay lên rồi vào)

悟空が降りてくる - やい、八戒！お前さんは分かっててそんなことを言っているのかい？あっちに見える店は偽物かもしれないぞ。あの中にはクモの巣窟があるだなんてことがないともいえないぞ。前に失敗したのに学習しない人だねえ。さあ、お二人さんは気をつけてお師匠様の面倒を見てくれよ。私は行って参ります（飛び去って、はける）

(Trên dãy núi có bọn yêu ma đứng nhấp nhô chỉ trỏ. Ma vương đi dần xuống núi xoay mình biến thành con hổ - Con hổ rón rén định vào Đường Tăng - Đúng lúc con hổ chồm lên thì ngựa hí - Bát Giới chạy vào vấp sau Đường Tăng - Sa Tăng sẵn sàng chiên đầu thì Ngộ Không xuất hiện) (山の稜線上のあちこちに妖怪が現れ、指さしている。魔王はゆっくり降りてきて身を翻し虎へと姿を変える。虎はそろりそろりと近づき三蔵法師に跳びかかろうとする。虎が後ろ足で立ち上がった まさにその時、馬がいなくなり。八戒が三蔵の後ろに立ちはだかり、悟浄が即座に応戦していると、悟空が帰ってくる)

N Không: - Loài nghiệt súc - Mi định hãm hại sư phụ ta hà. Mi có biết ta là ai không - Còn mi, mi là loài yêu quái gì vậy?

悟空： - この化け物が！ - 貴様、俺のお師匠様に危害を加えるつもりだったのか？ 貴様俺が誰だか知ってるのか？ それで、貴様は何の類の妖怪か？

(Con hổ xoay mình biến thành ma vương)

(虎は身を翻して魔王に変化する)

Ma vương cười: - Ha Ha.

- 魔王が笑いながら - ははは
- Ta chẳng biết mi là cái con khi khô gì cả - Còn ta, ta chính là Kim Giác Đại Vương ở Bình đĩnh sơn đây.
- 貴様がどこの何かなどしなびた猿ほども¹⁾ 知らんなあ。俺の方はな、平頂山の金角大王とは何を隠そう、俺のことよ。
- Ngộ Không: - Kim Giác Đại Vương - Thế ra người chưa biết danh tính ông nội mi đây sao? Vậy thì mở mắt to ra mà nghe ta (nói) đây. Ta chính là Tề Thiên Đại Thánh Tôn Ngộ Không 500 năm trước đã từng náo động Thiên cung. Hôm nay gặp mi đây ta cho mi ném thiết băng trượng.
- 悟空: - 金角大王だ? では、お前の祖父のような俺様の名前を知らないというのか? ジャあ、目を見開いて俺の言葉を聞け。俺は斉天大聖孫悟空、500年前に天の宮殿を騒がせたのは俺だ。今日会ったが百年目、貴様に如意棒をお見舞いしてやろう。
(2 bên đánh nhau trong tiếng nhạc dồn dập - Ma vương biến thành con rồng bay lên)
(双方騒がしい音楽のもとで闘う。魔王は龍に変化し飛び去る)
- Rồng: - Tôn Ngộ Không! Mi có dám lên đây đánh nhau với ta không?
龍: - 孫悟空! 貴様はここまで来て俺と闘う勇氣はあるか?
(Ngộ Không nhún mình lộn 1 vòng rồi bay lên đánh nhau với rồng
(悟空, くるっと一回転して飛びあがり龍と闘う
(Nhạc dồn dập - Ngộ Không xông vào liền bị rồng phun nước phải lộn ra (2 lần)
(騒がしい音楽 - 悟空は向かっていくがすぐに龍に水を噴きかけられ転ぶ (2回)
- Ngộ Không: - a à - Mi khá đấy nhưng ta đã có ngọc Ty thủy đây!
悟空: - お、おー、貴様なかなかやるな、だが俺には避水の玉がある。

ゲンサー村の台本 (2015年3月著者収集)

1) “Ta chẳng biết mi là cái con khi khô gì cả” という台詞について、ベトナム語で “khi khô” は「(死んで) しなびた猿」という意味になるが、「全く知らない」というとき、“khi khô” という言葉を補って強調する。これは慣用的な用法で、「猿」という意味は意識されていないようであるが、ここでは、相手が孫悟空 = 猿であり、作者がそれを意図していたかどうかは分からないが、敢えてこのように訳した。